



第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
Tel 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>
相談室 TEL048-461-6698

令和6年6月3日発行

Just do it! (ジャスト ドウ イット)

校長 近藤 克代

毎年、歴史的な人物や事柄を題材にした1年間に及ぶテレビドラマがありますが、今年は紫式部を題材に千年以上前の平安時代を描かれています。中でも、清少納言が平安時代中期に書いたとされる日本最古の随筆集「枕草子」には、美しく清らかな四季折々の風景や人々のあり様などが描かれ、今も尚、読む人の感性により様々に解釈されています。枕草子には、特に平安京(京都府)の伏見稻荷神社、清水寺、飛鳥井(白峯神宮)などの出来事も描写されており、3年生は修学旅行で、古都京都の美しさや幻想的な風景を体験しながら、歴史に触れることができたのではないかと思います。



ところで、本校では生徒の自主性、自律的な態度の育成を目指し、学級活動・班活動、委員会活動を活発にし、生徒の自治的な活動の充実を図っています。特に学校・学年で実施されるほとんどの行事は実行委員会を組織し、立候補や推薦者、または各種委員会が中心となり運営をし、組織的に活動をしています。先に実施された修学旅行は、準備の段階から実行委員が積極的に運営を行い、当日の班活動では班長のリーダーシップだけではなく、個々が当事者意識を持ちながら、やるべき係の仕事を確実に(それ以上に)行っている姿や、他人を思いやり尊重する姿を傍で見ることができました。修学旅行に同行し3年生から幸せな時間をいただいた気がしました。そして、学校行事だけではなく、全ての教育活動を通して、生徒の「生きる力」を身に付けさせることの大切さを改めて感じました。

さて、今回のタイトル「Just do it!」は、修学旅行実行委員が中心に決定した修学旅行のスローガンです。この英語を直訳すると、「ただ、やるのみだ!」となります。「Just」は「ちょうど」「まさに」「ぴったり」と、行動を示す言葉(「Do it!」やってみる)の前に置き、それを強調させる役割なので、使い方によっては強い表現となってしまいます。しかし、自分自身や仲間を鼓舞したり、不安や失敗を恐れず、「やってみよう! 挑戦してみよう!」「大丈夫だよ!」と背中を押すときにも活用ができるのです。これから先、3年生だけではなく、ほとんどの生徒が、授業内を含め一人で何か事を行う場面(活動)が多くなります。それには万全な計画や準備等が必要となりますが、いざ、本番となると不安や緊張などを感じてしまい、躊躇したり、逃げ出したくなったりする気持ちになる時が誰でも起こるかもしれません。しかし、自分自身を前向きな方向に導かせるきっかけが、第三中学校で学び、体験しながら身に付けた事であるとするならば、この「Just do it!」も、そのきっかけの一つかもしれません。



この記事を作成している時は、まさに、体育祭の練習をしている時です。校庭で、大きな声を出しながら、全体に指示をしている体育委員の生徒の声が校長室まで聞こえてきます。その声に合わせるかのように、元気な掛け声と、「大丈夫だよ!」「がんばれ!」などと教員と生徒が共に、学年種目等の練習をしている様子

をベランダから眺めながら、(ケガや体調など)ほんの少しの心配と、(はつらつとした姿に)うれしい気持ちと、(昔を懐かしく思い)ほんの少しうらやましく、寂しくも思いながら見えています。しかし、今年は、

(いたずらな天気)に苦々しく思った五月の終わりでもありました。